

(令和5年度補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 **秋田県** (都道府県: **秋田県**)
 本事業の担当部署名 **あきた未来創造部次世代・女性活躍支援課**

事業メニュー		地域結婚支援重点推進事業			
区分		一般メニュー			
関連事業メニュー		1.1.4 企業等と連携した結婚支援			
個別事業名		セミナーつき交流会開催事業		新規/継続 (一般財源での実施も含む)	新規
実施期間		令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日		事業開始年度	年度
対象経費支出予定額 ※(注)1		660,000			円
自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け ※(注)2		(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題) ※全事業共通 秋田県は、若年層の県外流出による社会減の進行のほか、独身者の意識変化及びライフスタイルの多様化等による未婚・晩婚・晩産化の進行が影響し、婚姻件数と出生数は、年々減少しており、人口の自然減に歯止めがかからない状況である。 このような中、県人口の自然減を抑制するためには、結婚・子育てに希望がもてるよう、小学生から社会人までの各年代でライフプランを学び考える機会を充実させながら、これまで以上に家庭や職場、地域全体で結婚・子育てを応援する気運の醸成を図るとともに、あきた結婚支援センター(以下「センター」という)を本県の結婚支援の中心に位置付けながら、結婚・出産につながる独身者の出会いの機会の創出に向けた取組の拡充を図る必要がある。			
		(当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け) <当年度の少子化対策の全体像> ※全事業共通 秋田県では、県政運営指針「新秋田元気創造プラン(2022~2025年度)」において、県民誰もが将来にわたって生き生きと暮らせる地域社会をつくるため、「未来創造・地域社会戦略」を掲げ、次の6つの「目指す姿」に向けて取り組んでいる。 目指す姿(1): 新たな人の流れの創出 目指す姿(2): 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現 目指す姿(3): 女性・若者が活躍できる社会の実現 目指す姿(4): 変革する時代に対応した地域社会の構築 目指す姿(5): 脱炭素の実現を目指す地域社会の形成 目指す姿(6): 行政サービスの向上 <本個別事業の位置付け> 目指す姿(2)結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現に位置づけられており、その達成に向けた取組として、結婚を希望する人に対する出会いの機会の提供など、結婚につながる総合的な支援を行うこととしている。本個別事業1は、その一環として従業員の出会い・結婚を応援する企業と連携し、若年社会人に対し、ライフプラン等に関するセミナーと併せて交流会を開催することで、参加者に結婚や妊娠・出産・子育てに対する意識を醸成するとともに、同年代との自然な出会いの場を提供することを目的として実施するものである。			
		(過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ))			
		(空欄)			
個別事業の内容	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	1	セミナー付き交流会	【開催数・定員】 開催数:2回、定員:男女各15人 計30人) 【対象者】 ・20代または入社10年目までの若手従業員 【内容】 ・セミナーでは、ライフプラン等の講義を行い、若い世代が仕事とプライベートを両立させて、秋田県で暮らしていく将来像を具体的に思い描ける内容とする。 ・併せて行う交流会では、MCが主となって場を盛り上げながら、ゲームやワークを通じて参加者同士の交流を促進する。 【本事業と有機的な連携を行う取組】 1. 参加者全員に、あきた結婚支援センター(以下「センター」という。)への会員登録を案内し、登録を促進する。 2. 参加者全員に対し、「センター」が行っている出会いイベント情報等を案内するLINEやメルマガへの登録を案内し、出会いイベントへの継続的な参加を促す。 3. 参加者全員に対し、県が主催する出会い・婚活イベントや結婚セミナー(個票④において実施するイベント)への参加を促し、本イベントを出会い・結婚について行動をおこすきっかけとする。		○
※(注)3		【次年度以降に向けた事業の方向性】 令和7年度以降においても、参加者及び参加企業のニーズを把握し、それに応じて事業内容を見直しながら、企業と連携して結婚や妊娠・出産・子育てに対する意識醸成及び自然な出会いの機会の創出に努める。 【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 えひめの若者ライフプランセミナー			

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値	現状値
		合計特殊出生率			1.42 (R6)
参考指標 ※(注)5 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.18 (R4)	
	婚姻件数		件	2,447 (R4)	
	婚姻率			2.6 (R4)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	事業内容 番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	参加者数	人	60	-
	1	参加企業数	社	20	-
	(アウトカム)				
	1	セミナーに対する参加者の満足度	%	70	-
	1	交流会に対する参加者の満足度	%	70	-
1	継続して従業員を参加させたいとの意向を示した企業	%	70	-	
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	<ul style="list-style-type: none"> ・本個別事業の実施について、各市町村HPや広報紙への掲載など、市町村と連携して一層の周知に努める。 ・市町村結婚支援担当者会議を開催し、情報共有を図るとともに県と市町村の連携を強化する。 				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	「あきた結婚支援センターの会員団体」を中心とした民間事業者に、本個別事業において実施するセミナーの周知・広報や参加者のとりまとめ等を依頼するほか、会場の提供等の運営に対する協力も募り、官民共同で結婚や妊娠・出産・子育てに対する意識醸成及び出会いの創出等の支援に取り組む。				

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、③は記載不要。

①これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題

②当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

③過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和6年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。